昭和26年 1月14日(日曜日) 第195號 磐城毎日新聞 (昭和二十五年十二月六日)第三種郵便物認可 (一)

小名濱を重要港に指定

鈴木平市長の構想ご合致

運輸省では港灣法に基く重要港灣として全國を通じて四十七港を指定する事に決定、この四十七港の指定港の中には本縣唯一の商港小名濱港が含まれている、港灣法の施行令は近く公布される筈で小名濱港もこの指定によつて國庫から港の水域、外郭、繋留施設の工事費の五割の補助を得る事となるので小名濱港も本縣唯一の商港として完成を見る事を約束されるに至つたので地方發展のためにも大きな期待をかけられているが鈴木平市長は元旦における市主催の名刺交換會の席上年頭の辭の一節に近く開始される市營競輪場に言及し次の如く述べた

近く開始する競輪場かちの收益は各種の施設に投ずる豫定であるが先づ第一に實施せんとする案は市内の三十米道路を小名濱まで延長しこれを舗裝道路にして平から小名濱に自動車で十數分間で行ける樣にし小名濱との距離を時間的に短縮し名實共に平市の小名濱港とする計畫である

と大要右の如き構想を披歷したが重要港として指定された事は鈴木市長の構想を裏づけるものと一層の期待をかけられるに至つた

地方議員定數減らす

法律案今議會に提出か

來る四月の各種地方選擧を前に地方議員の定數を減少させようとする法律案がいま政府で檢とうされているらしい

希望と努力

希望と努力には非常に骨の折れる世の中になりました毎日行きあふ人の顏つきを見ましても苦しい世の中だ愈々來る二月七日より第一回を開催する事に決定した市營平競輪は宣傳に大童であるが市では驛前廣場大通り三十米道路入口中央に競輪宣傳用の競輪廣告塔を建設する事となつた、工費十萬圓で高さ三十尺、七尺角のモダンな設計で目下復興事務所に對し建設場所について折衝中で復興事務所の承認を得次第丸茂土建工業所の手によつて着工する

驛前に競輪塔を建設

平競輪宣傳に大童

町會社員岡田稔(三)が自轉車にドブロク一斗を積んで市内五丁目附近を通行中市署安齊巡査に不審尋問で逮捕され連行の途中自轉車ドブロクもろとも放り出して逃走した

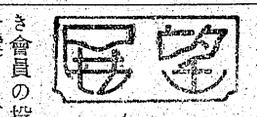
肢体不自由兒童

平で實態調査

兒童福祉法實施以來全國でも一、二にすぎない兒童の肢体不自由者の實体調査を平市では來る廿日から約五日間にわたり、日本醫大整形外科齋藤一男教授ら六名を招いて行ふことになつたこの調査の結果は學界からも注目されている、智能的に障害のない肢体不自由兒の整形外科治療による救濟と教育長期間にわたる醫療と教育を如何にして行ふか、また適職の指導についてなどの參考資料とするものである

會社員のドブ運び

十日午前一時ころ平市長橋



平商工會議所議員は既報の通り四年振りに改選される事に決定選出方法は從來の形式を改め商工會議所法に基き會員の投票によつて所謂公選する事となつた結果會議所では目下會議所法に據つて新定款並に議員選擧規則を作製中の由である

×

平商工會議所に對する現在の世評は率直に言つて失禮ながら餘り香しいものではない、否な寧ろ無用の長物視している向もある事は否定し得ない事實であるとも言い得る、甚だしきは「仕事に何等の積極性を持たず他力本願の便乘主義で徒らに會費を人件ほ喰つている一種の失業救濟機關であると酷評している向もあるとの事である

會議所當局では「經費がないから思う樣な仕事が出來ない」と言い、會員側では「何にをやつているのが譯けのわからぬ所に金は出せない」と稱しこれでは全くイタチゴツコである

×

これは何に基因するのであらうか平市を中心とした地方商工業發展のため充分反省すべき問題である、それは人にあると解する向もある樣であるが若し「人」にあるとするならば今次の議員改選こそ絶好のチヤンスであると言はざるを得ないのわからぬ所に金は出せない」と稱しこれでは全くイタチゴツコである

×

これは何に基因するのであらうか平市を中心とした地方商工業發展のため充分反省すべき問題である、それは人にあると解する向もある樣であるが若し「人」にあるとするならば今次の議員改選こそ絶好のチヤンスであると言はざるを得ないのわからぬ所に金は出せない若しこの機會を逸するが如き事があるとするならばその責は會員それ自体が負うべきである事を肝に銘じ議員の選出に對し對岸の火災視するが如き事なき樣進言するものである(Y記者)

1951年の新春に贈る

第1回100萬圓寶くじ

今年の幸運は先づ寶くじの初當り

100萬圓 14本 10萬圓 70本

以下 八等迄 1枚 30圓

抽せん 1月31日 賣出中

日本勸業銀行平支店

濃厚スのモト(瓶入)

割ばし(各種)

佐々木商店

平市鍛冶町 電(呼)五〇三番

謹賀新年

本年も相變らず御愛顧の程を願上ます

平會館

金成

電話 六二四番

昭和52年7月6日
（二）第三種郵便物認可　昭和26年（1951）　磐城毎日新聞　1月14日（日曜日）第195號

第四回一月文化講座

平市内各小學校で開く

平市に於ける一月（第四回）の文化講座は第五、第六小學校を皮切りに來る十五日より市内各小學校に於て開講する事に決定したが會場日時、講師及擔當講座は次の通り

△第五小學校（舊飯野）一月十五日午後一時より「新聞と文化」毎日新聞平通信部大塚主任

△第六小學校（舊神谷）一月十五日午後一時よりこれからの農業經營、荒井神谷農場長、新らしい民法市井辯護士

△第一小學校、一月二十三日午後一時三十分より「營養のはなし」佐々木營養士」（片倉製糸工場）社會生活と報德、黑田第一小學校長

△第二小學校＝一月二十七日午後一時より」所得稅を中心としたる經濟問題小貫平稅務署長

△第三小學校＝一月二十一日午後一時三十分より「アメリカ文學と明治文學」中柴磐高教官「外國の芝居と日本の芝居」八木磐農教官

△第四小學校＝一月二十三日午後二時より「題未定」江尻平農協組合長「農業經營」荒井神谷農場長

尙社會教育委員は最寄りの會場に出席して聽講者の督勵方を主催者側は希望して居る

米一粒は一厘に當る

粗末にするな古老ムダ調べ

政府では米價を値上げするとかしないとかいつているが何といつても米は日本人の命の親である、平市平窪の某老翁は各家庭でこの大切な米やご飯を粗末にするのに少からず公憤を感じ綿密に調査した結果面白い統計に基く資料を本社に寄せて來た

一升の米はやく七萬つぶあるから一升七十圓とすれば丁度一つぶが一厘に當る、勝手の「流し」の下にフルイを取つけ又釜の底にコゲついたご飯や更にこぼれたご飯などを丹念にひろい集めたところ驚く勿れ一日分が三百八十六粒あつた一粒一厘として一日分實に三十八錢六厘これを一年分にすると何と百四十圓八十九錢となるこれは四人家族の勘定であるから家族が多ければ多く少なければそれだけ減ることになるが平市の戸數は飯野、神谷を合併したのでザツと八千戸ときくがらこれを八千倍すると一年に百十二萬六千七百二十圓となる勘定だ、更にこれを福島縣全体日本全体、とし計算すれば實に莫大なる數字となる

平市の工業センサス調査

平市役所統計係では昭和二十五年十二月末日現在をもつて一九五〇年度の工業センサス調査を近く實施する事となつたこの調査は各種製造並に加工業、自轉車の新車組立て販賣業等に付て從業員三名以下の事業所に對しては調査員が面接調査を行い從業所に對しては基本調査表を配布して調査を行う事となつて居り市内に於ける調査該當の事業所は百二十乃至百三十と豫想され三月末までに調査を完了する豫定である

ニセ國鐵助役各方面を荒す

平市近郷に僞鐵道助役が現われ各方面を荒廻り一般の注意を促がされている、この程自稱湯本町國鐵自働車營業所助役渡透正春と名乘る三十四五才の男が内郷町宮名畑秀郎（三〇）さん方を訪れ名畑さんの弟信（三二）君の就職を世話すると話し上手に持ちかけきよう應を受けようとし更らに十二月十八日夜同人らしい春名と稱する男が小名濱町自働車修理業佐藤虎雄さん方を訪れ約二千圓相當のきよう應を受けた上佐藤さんの實家東白川郡鮫川村佐藤重保（六一）さん方に現われ凄文句を並べまた内郷町宮四屋スセさん方でも息子の就職を世話すると稱しきよう應を受けた上外套を借り逃げする等各方面を荒した事實が判明し平鐵道公安ではこの僞助役の行方を捜査中である

小名濱通信

小名濱町役場には吏員六十餘名が勤務して居る處から吏員組合を組織して組合長に教育課長の齋藤昌一君を推し其運營に當らしめて居るが、齋藤組合長は勤力三十年に手も屆かうとする勤屬者で各課共勤め拔いた吏員中の生字引で上にも下にも人情豊かな人柄を持つサラリー界では稀れに見る人情家であるこのヒラメきがどう云ふ場合に發揮するかと云ふと即ち今日の樣に、新春匆々三十年來の大雪と來て嘗て聞かない積雪ぶり校庭で八寸と云ふ大雪で、誰一人雪を冒して町役場を問ふものもなく、吏員は各課に備へるストーブを圍んで、所謂爐邊會談なるものが交はされて居る、これを見た人情の機微を穿つ齋藤組合長は一寸給仕に命じてアンコウ六貫目、味噌二貫目の注文何事かと聞けばアンコウ汁で腹から暖を採り外からストーブで暖を採るこれで雪見も無事に濟ませようと云ふ對策發表、只二三の上戸黨が湯呑み一杯と云ふ希望もあつたか職務中とあつて上戸黨をいましめ晝食をアンコウ汁で鱈腹喰い込むだのは正に組合長の賜として感謝百拜記者は此日に限り已むを得ない用件が厚生課にあつた爲め、出かけてストーブ會談に加わつたお蔭で御馳走にありつき齋藤組合長の人情味に浴し得て寒さも知らずに數杯を受けて悠々引揚け得たのもこれ偏に齋藤組合長の思ひやりの深い處として感謝の誠を捧げて辭去したのであつた

（十日正午町役場厚生課にて）

参議院議員の補缺選擧は松平自由、田中社會、兩候補の一騎打ちの夢破れ中野（無）林民主兩元代議士も出馬する雲行きが濃厚となつて四ツ巴の亂戰を豫想されるに至つた矢先き例の三六女史事山下春江前代議士（民主）の出馬說が報ぜられ一層の賑かさを呈する事を豫想される、殊に三六女史の出馬は注目に値すると云ふのは參院には一足お先に當の相手の三六元大臣が控えてご座るから同女史が當選すれば又候院内で醉虎傳を演じ天下に名聲を博するに至れば吾々縣民の名譽もこれに過ぎるものがないであろう？

文藝欄

詩

シベリヤの冬

ヨシタロウ

今宵靜かなる爐端に坐り
私は遙かなる異國の丘を想う
私達捕はれの身にとり
それは餘りにも激しい
それは餘りにも恐ろしい
大自然の猛威
私達は鐵筋の如く固くなつた
田舍道を歩んで行く
頭をたれ　ちゞこまるだけちゞこまつて
寒さにおのゝきながら歩む隊列
前途を阻むやうに
吐く息がマツゲに氷りついて
瞼を蔽う
ともの鼻がロウの如く凍つつてゆく
頭の先から爪先まで
全神經が凍えるやうな
零下五〇度のシベリヤの冬
この國の人の想像だにつかぬ
シベリヤの冬
未だ還らざるともを思う
あか〳〵と燃ゆる圍爐火に
その人達の健やかなるを祈る

急募
本社留守番を急募する
一、年齢五十才位の未亡人
一、社内の掃除及びお茶番
一、給料其他の待遇は面談のこと
平市十五丁目
磐城毎日新聞社

看護婦
助産婦
生徒急募
何時でも入學出來ます
平市南町　平助産婦看護婦學校
校長　實川彌太郎

ネクタイの店
エンドー
平二丁目
電一〇二八

本場＝牛豚肉＝自慢
配達迅速
第一綠屋　電539
第二綠屋　電794